

長野市公共施設個別施設計画(案)に対する市民意見募集(パブリックコメント)の結果について(公表用)

令和3年2月
公共施設マネジメント推進課

1 意見募集の概要

実施時期: 令和2年11月19日(木)から12月18日(金)まで

公表資料: 計画本編(36編)、概要説明資料

閲覧場所: 市ホームページ、公共施設マネジメント推進課、行政資料コーナー、各支所



2 意見募集の結果

(1) 意見募集提出者数 83人と5団体 (持参24、郵送8、FAX44、Eメール3、電子申請9)

(2) 意見等の件数 意見等件数94件

(3) 案に対する意見・提案への対応

対応区分	市の対応方針	意見	件数
1	案を修正・追加する	No. 1 ~ 2	2
2	案に盛り込まれており、修正しない	No. 3 ~ 4	2
3	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする	No. 5 ~ 89	85
4	検討の結果、案に反映しない	No.90	1
5	その他(質問への回答、状況説明)	No.91 ~ 94	4
		合計	94

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
1	23 児童館・児童センター編	<p>1.「4施設の現状と課題」における「(7)これまでの施設配置や規模の基準等」について 計画案では、「施設の配置や規模について明確な基準等はありません」とあるが、長野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例では、第9条で専用区画の面積等設備に関する基準を定めていることから、同条の概要を記述するべきである。</p> <p>2.同条「(8)課題」について 長野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例第9条第2項では「専用区画の面積は、児童1人につきおおむね1.65㎡以上でなければならない」と定めているところだが、古里児童センター(1.54㎡)、篠ノ井中央児童センター(1.56㎡)、古牧児童センター(1.61㎡)と基準に満たない施設がある。新型コロナ対策上からも、これら施設については、速やかな基準面積の確保が必要であることを課題として明記するべきである。</p>	<p>長野県の「児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例」では、児童館・児童センターについて、遊戯室など備えるべき諸室の面積を定める基準がないことから、「明確な基準はない」としていましたが、現在、児童館・児童センターは、放課後子ども総合プラン事業の実施場所として、主に使用していることから、平成24年度に制定した「長野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例」に規定する児童一人当たりの専用区画の面積基準が適用される旨及び基準に満たない施設の課題解決が必要な旨について、計画に追加します。</p>	案を修正・追加する
2	30 消防団詰所編	<p>川中島第一分団詰所は、川中島分館、農協との複合施設であるが、川中島分館の建物の対策等の方針と違って統一性が無く、併設している農協の記載がないなど、矛盾している点があるので、良く精査して方針を示すべき。</p>	<p>建物のうち、川中島第一分団詰所の部分については、建物が存続している限り機能を維持していきたいと考えています。このため、両施設の対策は異なる内容で記載しています。</p> <p>なお、ご指摘を踏まえ、特記事項欄に複合施設の相手方として「農協」を追記します。</p>	案を修正・追加する
3	3 公民館・交流センター編	<p>公民館の分館・分室は、老朽化している施設が多く、維持には多額の費用を要することは容易に想像されるため、今後も使っていきたい地区に譲渡や貸付を進め、不要な場合は廃止し、解体する市の計画に賛成。</p> <p>存続を希望する意見がある場合は、希望している地区への譲渡や貸付について、丁寧な説明を求める。使いたい人で施設を管理し、自由に使えるようにして、使わない人達から負担を求めないでほしい。</p> <p>これからの市の負担を減らすことを第一に考えなければ、孫たちが将来、その費用を負担することになる。「将来世代に負担を先送りすることなく～」としている市の理念に基づき、着実に計画を推進してほしい。</p>	<p>分館機能廃止後の建物の取り扱いについて、地区への譲渡を検討する際には、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案に盛り込まれており、修正しない

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
4	3 公民館・交流センター編／4 集会所編	<p>人口が減り、財政が厳しい中で、その状況に沿って施設を減らして維持するという考えに賛同。</p> <p>昨シーズンで閉鎖した飯綱スキー場のように、地域に方にとって必要な施設であっても、今後を見据えて進めていかないと施設を減らすことはできない。</p> <p>計画の概要版では、特に公民館の分館や人権同和集会所は全ての地区に整備された施設とは思えず、施設が無い地区は、無い中で対応している。地域で必要な施設であれば、自分たちで維持していくほうが愛着を持って維持管理できると思うので、進めてもらいたい。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、公民館・交流センター本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>人権同和教育集会所は、人権同和問題の理解及び認識を深める事業等を行うことを目的として設置していますが、近年は主にサークル活動や地域の集会施設として多く利用されています。人権に関する事業は、同等の機能をもつ公民館等で行うことが可能と考え、人権同和教育集会所は廃止する方針としています。</p> <p>今後は、地元へ譲渡する方向で調整を図っていきたいと考えています。</p>	案に盛り込まれており、修正しない
5	1 学校施設編	<p>374棟ある小中学校施設は、更新・改修経費の増大に大きな影響があるため、各学校の棟ごとに長寿命化するかどうか方針を示すべき。</p> <p>棟ごとの方針は、校区単位の住宅事情等の特性を踏まえた人口推計を行い、将来の児童数を分析し、判断すべき。</p>	<p>長野市活力ある学校づくり検討委員会による「少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方に関する答申」を基に、現在各地区で学校の在り方について対話を進めています。</p> <p>長寿命化を基本方針としていますが、人口の推移を重視した、将来的な学校の在り方を踏まえ、対応を検討していきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
6	1 学校施設編／3 公民館・交流センター編／28 支所編	<p>公共施設はそれぞれ利用する人を限定しているので、施設を集約化して様々な人が使えるようにしてはどうか。若槻小学校は、児童数が激減しており、公民館(体育館、会議室、図書館)や支所などを集めて、子供からお年寄りまで使えるようにしてほしい。</p>	<p>現時点では、若槻小学校の建物内に公民館や支所が移転できるだけのスペースを確保することは難しい状況であり、また新たな建物を建設することも困難です。</p> <p>若槻コミュニティセンター建替えの際は、地元の意見をいただきながら、あり方について検討していきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
7	3 公民館・交流センター編	<p>朝陽公民館は、多くの地区住民が利用しているが、老朽化及び本館と分室が100m程離れており、駐車場も二つの建物から離れた場所にあるため、集約化し、支所との複合化を図り総合市民センターとして、計画期間の前期での整備されたい。また、ロードマップを示されたい。</p> <p>なお、市公共施設白書によると、朝陽地区内の施設面積は一人当たり0.6平方メートルと極端に低い状況であり、公民館建設時に比べ人口も増加しているため、総量縮減は理解できるが、朝陽地域の実情を考慮されたい。</p>	<p>朝陽公民館本館及び分室については、支所との複合化を図り、総合市民センターとして整備を進める計画としています。</p> <p>地域の実情や財政状況を踏まえながら、計画期間内の整備を検討していきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
8	3 公民館・交流センター編	豊野公民館の沖団地跡地に移転整備について 1.豊野支所の3階が空いているほか、豊野保健センターの統合計画により保健センターも空く。財政面や公共施設の有効利用の面からは、公民館を移転新築するより、こうした施設との複合化を図るべき。 2.なぜ現在地より浸水リスクの高い場所にわざわざ移転新築するのか疑問。 3.移転先は第一種住居地域であり、盛土をして公民館等を新築することは、景観上好ましくない。	発災前から、建物の老朽化と駐車場不足などの理由により、支所周辺の公共施設を総合的に考えた上で、移転などを検討してきました。豊野地区における、度重なる浸水被害や地元要望を踏まえ、豊野公民館に防災拠点機能を加えた(仮称)豊野防災交流センターとして、市営住宅沖団地跡地へ新築移転することとしました。盛土等の浸水対策については、今後、地元の皆様と検討していきたいと考えています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
9	3 公民館・交流センター編	豊野公民館の整備について 1. 町民の要望を聞く機会を作ってほしい。 2. 日常的に多くの人が集まる建物がほしい。 ・屋上利用、展望台があり広大な景色をみれるような工夫、ギャラリー、 業者の人を入れにぎやかに、郷土展示の部屋 3. コンサートが開催できるレベルの講堂がほしい。 4. 芝生の庭がほしい。 5. 長野市の基本政策である『北部図書館』を同じ建物に設置してほしい。 6. 高齢者向けのスロープがほしい。	豊野地区住民自治協議会及び豊野地区災害復興対策委員会連名で、豊野公民館の市営住宅沖団地跡地への建設要望書が提出され、災害アーカイブ、コミュニティ活動の場としての機能整備、地域の防災拠点などの整備について要望をお受けしています。今後、施設の内容や配置について地元検討組織と協議を進めていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
10	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館は、最近建て替えたばかりで新しくとても使い易い。また、地域の諸会合や、同好会活動等に多く使用している。地方の活性化に逆行するようなことはせず、現状を維持してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
11	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館について 公共施設の維持の大変さ、よく分かった。塩崎分館の廃止の方向も仕方ないと思うが、2019年の台風19号で塩崎分館の大切さを改めて認識した。気楽に集まる場所があること重要で、顔を合わせることは人を幸せにする。譲渡・廃止となれば、絆がなくなってしまう。塩崎分館の横はJAグリーン長野塩崎支所があり、JAと共存しながら存在の方法もある。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
12	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館については、地元で60才で戻り、地域の公民館主事、館長、分館主事、分館長と公民館一筋10年活動し、塩崎地区の子供からお年寄りまで皆と一緒に元気に活動出来ることを目指してきた。活性化を目指してさまざまな行事、会議、講演会、講習会等を行い、分館は大きな役割と貢献を果たしてきた。分館が無くなる方向に進むと、塩崎地区のコミュニティーが図れない。地域の方々が健康づくり、スポーツ、料理教室も行っている。役員経験者として、これからの公民館活動に大きな期待を寄せている。殆どの活動は分館が拠点となるため、是非継続してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
13	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館の廃止・解体について ①築11年の物件を、施設の老朽化に伴う経費の拡大のため「廃止・解体」とは、税金の無駄遣いではないか。 ②計画(案)について、地域利用者に対しては説明が行き届いておらず、利用者等は寝耳に水の状態であり、市としての説明責任を果たしていないため、各家庭に向けて周知を再度行うべき。 ③計画(案)について、市としての説明責任を果たしていない中で、市民意見を1か月間だけ募集することは、広く利用者の意見集約にはならない。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、個別施設計画の策定については、これまでも、各家庭に配布される広報ながののほか、各地区の懇談会や市HP等により周知を図っています。パブリックコメントの期間については、「長野市まちづくり意見等公募制度実施要綱」に基づき1か月程度としています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
14	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館について これからの時代、個人での活動は大変。皆で話し合い地区毎での活動を計画して、運動等出来る場作りが必要。 長野市で活動を提案して計画実行を各地区へお願いしている中で、活動する場所を無くしてしまう様な計画ではないか。 各地区で活動をやりやすい様に長野市で計画してほしい。 各地区の分館はぜひ残して、これから高齢者が家から出ていきやすい様な活動にしてほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、高齢者の社会参加による介護予防を推進するため、より身近な場所にお茶のみサロンなどの「高齢者の集いの場・通いの場」が多くあることが望ましいと考えています。 地域で高齢者を支えていく観点からも、地元地区への譲渡・管理について、地域の皆様と検討していきたいと考えています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
15	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館は、塩崎全体のことを話し合うのに、大事な場所。他地区でも同様だが、そういう拠点の場所を、廃止解体等すると、地域住民自治の力が弱まる原因になる。市の管理でなく、地域の管理でも良いので、存続させてほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
16	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館の利用団体の責任者だが、個別施設計画(案)について偶然知った。利用団体・者は多数あるが、今回の件については今まで何の説明もない。どの様な経過で今回の計画になったのか、何が問題となり、今後どのような方針でいくのか、具体的な内容について説明会を開催してほしい。また、近くにある文化交流の場としての分館をどの様にしたら維持していけるか、どう維持するのか、利用者や登録団体との直接の意見交換・話し合いを行い、方向性を考える場もつくってほしい。分館は地域住民の交流・活動の場であり、生活のよりどころとなっており、切り捨てではなく残せる方向での検討会を望む。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
17	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館の廃止案に反対。 (1)同分館は年間約7,000から8,000人の利用があり、文化・芸能活動、交流活動、住自協や区長会等の公的活動など、塩崎地域の拠り所となっている。クラシック音楽鑑賞を通しての音楽療法のため、年6回利用しているが、音響設備や駐車場が完備しており、他の場所での開催は不可能。(参加者20~30人) (2)同分館は平成23年改築で、他の老朽化した建物と同列に解体廃止は理解できない。あまりに画一的で、行政の連続性のなさや見通しの甘さを指摘せざるを得ない。ムダの極みではないか。地元の意見を尊重して何等かの形で存続してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
18	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館は、築11年であり、管理費面での出費も少なく済んでいると推測され、当面、解体は無いと思われるが、いずれ解体、譲渡、貸付の協議の時期が来ると思われ、将来を考え今から10年後の対策を検討するため、財政面の説明を聞き住民が過大な負担にならないようにしたい。 総合型地域スポーツクラブの運営スタッフの一員だが、塩崎分館の利用頻度は地域の中でも高く、有料で使用をしている立場から、施設の使用料は、維持、管理の財政面や公平性の観点からしても、利用団体からの受益者負担にすべき。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、受益者負担については、今後の課題と考えています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
19	3 公民館・交流センター編	<p>篠ノ井交流センター塩崎分館の廃止案に反対。</p> <p>(1)シニアのコーラスを指導しており、毎週練習で使用しているが、広くて、使いやすく、充実した練習ができ、歌うことで心が癒され、元気を取り戻している。ピアノが必要ですし、この新しい分館を是非存続してほしい。</p> <p>(2)昨年の台風被害を考えた時、塩崎でも沢山の家が浸水し、避難した。分館は重要な避難場所であり、その上、コロナ禍の中で密を避けるためにも、住民の命を守る場所としても絶対に必要。</p> <p>(3)市民として耳にしたのがつい最近のことであり、もう少し丁寧に各地区での説明会を希望する。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>なお、篠ノ井交流センター塩崎分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。</p> <p>現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
20	3 公民館・交流センター編	<p>篠ノ井交流センター塩崎分館について、補修を行いながら、地区へ譲渡、または廃止を進めるとの計画に反対。</p> <p>体操、会議、音楽鑑賞、料理教室等で、月に1回は利用し、学習会、お茶会、懇談会、親子お楽しみ会(カレー作り)、折り紙教室、ちぎり絵、蜜蝋ラップづくりでも月1回程度は利用してきた。コーラスグループでは、大人数が歌うために篠ノ井交流センターの教室は使えなくなり、多目的ホールなら3密を避けられるとの事だが空きがなく、塩崎分館なら集会室が利用できるとの事で、週1回利用してきた。</p> <p>この施設は私たちが、文化、芸術に触れ、心豊かに過ごし、交流する上で大事な拠点であり、地区へ譲渡、または廃止などないと願っている。塩崎分館は、築10年も経過しておらず、なぜ譲渡、廃止なのか疑問。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
21	3 公民館・交流センター編	<p>篠ノ井交流センター塩崎分館は、2019年の利用者数7114人と多くの利用がある。平屋で、高齢者、障害者にとっても使いやすい構造になっている。地域住民にとって、文化、芸術、スポーツなど活動の場であり、地域公民館にはない役割を担っている。譲渡では、塩崎で維持費を捻出するのは大変困難。分館役員や前役員は、ほとんどの方が「分館の廃止」について理解・周知されていない。拙速な「廃止」は見直してほしい。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
22	3 公民館・交流センター編	<p>篠ノ井交流センター塩崎分館の地区への譲渡、廃止に反対</p> <p>①地区への譲渡は維持管理費を塩崎区民全体が負担することになるが、地域公民館の維持管理費はすべて区民が負担している上、更には無理です。</p> <p>②塩崎の活動の場(会議の場(地域委員会・区長会・公民館・育成会等)、PTA・婦人部等の活動の場、各選挙の投票会場)を廃止することに反対。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
23	3 公民館・交流センター編	<p>篠ノ井交流センター塩崎分館について</p> <p>この事について情報を得た時期は12月初旬であり、計画(案)の内容について確認できていないが、感想、意見を記載する。</p> <p>1.地域にとって大切な情報が、我々利用団体に対してどの様な伝達方法で実施されたのか知りたい。</p> <p>2.塩崎分館は地域の交流の場として必要</p> <p>3.行政の大きな方向は理解しつつ(地域譲渡)、検討する上での情報は今後どの様な形で示されるか。この場合地域の窓口はどこになるのか。</p>	<p>個別施設計画の策定については、これまでも、各家庭に配布される広報ながののほか、各地区の懇談会や市HP等により周知を図っています。</p> <p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
24	3 公民館・交流センター編	<p>篠ノ井交流センター塩崎分館の譲渡・廃止に反対。現状を維持してほしい。</p> <p>口コモ症候群を予防する体操の会を主催しているが、これができなくなり、介護や寝たきりが増えれば、結果的に介護費用や医療費が増え、財政的負担を招く。</p> <p>健康に過ごすことが、市民や住民の願いであり、それが市政にもよい効果をもたらす。健康増進活動が身近なところでできなくなるのは、市政にとって大きなマイナスとなるため、譲渡・廃止には、絶対反対。現在、駐車場も広く、大変便利に、有効に活用している。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>なお、高齢者の社会参加による介護予防を推進するため、より身近な場所にお茶のみサロンなどの「高齢者の集いの場・通いの場」が多くあることが望ましいと考えています。</p> <p>地域で高齢者を支えていく観点からも、地元地区への譲渡・管理について、地域の皆様と検討していきたいと考えています。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
25	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター塩崎分館の譲渡・廃止に反対。現状を維持してほしい。 ①塩崎分館は建築からまだ10年も経過していない真新しい建物で、建築に際しては当時の分館長や主事が中心になり、地域の多くの人たちの要望を取り入れた。 ②旧塩崎村の地域の人たちを中心に、多くの人たちが利用し、文化的な生活を享受しており、健康増進や集う人たちの心の交流にも大変役立っている。 ③自身も体操や学習で数多く利用している。 ④多くの団体、個人が利用している。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
26	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館は、現在、地区の会議や芸能文芸、各種学習会などの会場として利用頻度が高いので是非残してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
27	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館の廃止・解体等の方針について 共和は南北に長く、分館は中心に有り、人々が集まりやすく、地域の行事などがやりやすく、コミュニケーションのとれる場所。各区・各組に公民館があるが狭く、共和地区全体が多く集まる場所として必要。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
28	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館について ①廃止はNo ②地区への譲渡も、管理・運営経費とも多大となり、住民への負担も過大となる為、反対 ③利用者・地区内住民に十分な説明をすること。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
29	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館は、共和地区の中心であり、共和地区の集会・行事等を行うのに必須。地域のよりどころともなっており、災害発生時等においても重要な場所。共和の岡田地区と小松原地区との重要な拠点。今後とも活用することは必須であり、廃止・解体などもっての外。地区をまとめていくうえでも残していくことは必須と考える。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、篠ノ井交流センター共和分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
30	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館は、地域コミュニティの根幹を成す施設として、地域住民の事業活動の場であるとともに生涯学習の場でもあり、地域内の各種団体の活動の拠点でもあり、地域の歴史、文化の継承の場でもある。交流センター分館は、正に長野市の根幹を成す場でもあり、廃止となれば地域のコミュニケーションは廃れ、事業、学習の場は失われ、一番大事な人と地域との繋がりが無くなり地域の安全安心にも関わる。地域の分館は地域活性化の拠点でもあり、地域が元気であれば生産が上がり消費が増え地域経済の向上につながる要素であり、このサイクルを回していくのが市、行政の役目ではないか。廃止、譲渡という選択肢は考えず、今までどおり継続を要望する。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
31	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館は、今までどおりの形で使用したい。共和分館は、小松原・岡田地区の中央に位置し利用しやすい。会議・集会・サークル・イベント等、共和区民の拠点となる施設であり、共和地区にはなくてはならない施設。他に代わる建物もない。区へ譲渡・廃止では、区民の円滑なゆとりある生活が切り捨てられる状況に陥ると推測されるため、運営等も含め、変更しないほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
32	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館をなくす計画に反対。分館は地区の中心に位置し、各種の会議や区民のサークルや研究会の、唯一の練習や学習の場として利用している。区民に親しまれたかけがえのない施設であり、もし無くなれば、これに変わる施設はない。自治会や地域のさまざまなサークル活動は出来なくなり、平和で豊かな市民生活は奪われてしまう。こんなことは、当局は百も承知だと思うが、あえて強行しようとしているのはなぜなのか理由を聞きたい。分館で機会をもっともらいたい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
33	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館は共和地区全体の交流の場所として、全体会議、文芸、芸能発表会の場所として利用され、高齢者等の趣味の習い場としても利用されており、大変重要な場所。災害時の備品庫など備えて、ぜひ存続を希望する。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、篠ノ井交流センター共和分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
34	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館は、共和地区住民の地域づくり及び社会福祉の活動並びに生涯学習の活動等多くの団体活動の拠点となっている。共和地区内には、施設規模を代替が無く、廃止となれば同施設を利用してきた活動は、止めるか規模縮小となり、自助・共助・公助の内の共助の衰退を招くとともに、住自協の活動にも支障がでるが、地域の活動を止める訳にはいかない。 施設の置かれている位置や代替施設の有無等を調査し、総合的に勘案して進め、地区活動に支障がでないようにされたい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、各地区の地域づくり活動には、住民の皆様が知恵を出し合い活動してきた様々な形が蓄積されていますので、他地区の活動状況等参考になる事例など情報提供を行いながら、地域の共助を維持し、持続可能な住民活動が行えるよう支援していきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
35	3 公民館・交流センター編	(篠ノ井交流センター共和分館について)意義なし	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
36	3 公民館・交流センター編	<p>・パブリックコメントも良いが、使用(施設)する団体に個別説明してほしい。目的、現状、問題点が分からないままでは困る。</p> <p>・どこを対象として考えれば良いのか？</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>なお、個別の説明等をご希望の場合は、市政出前講座等をご利用ください。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
37	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター共和分館の機能の方向性の廃止に反対。公民館・交流センターは地区住民が集う最小単位の施設。篠ノ井地区の分館は今までの区公民館・地区分館・交流センターの体制が良い。各分館は、その地区の長い歴史の中で作られてきた施設。計画案では交流センターに集約していく方向のようですが、篠ノ井地区4万人は規模が多すぎ、いまの分館4,000人前後がまとまるにも妥当。費用の維持管理コスト地区負担もやむを得ないかと思うが、各地区の防災拠点の機能を持たせ複合施設にするなど、検討が必要と考える。	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
38	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター東福寺分館の建物は、2階に東福寺分館、1階にJA篠ノ井東支所が併設され、両者が共存し、地域活動の拠点として有効に活用されている。敷地は東福寺村役場、東福寺小学校の跡地であり、東福寺地区にとって由緒ある場所で、地区の中心となっている。当分館では、篠ノ井住民自治協議会・東福寺地域委員会・各部会及び、関係団体の総会・各種会議・文化芸能祭・各種サークルによる教養講座・コミュニティ活動等が行われており、年間を通して有効に活用されている。東福寺地区の「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の為に一層活用していくので、継続してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
39	3 公民館・交流センター編	篠ノ井交流センター信里分館については、個別施設計画素案では、「廃止・解体」になっており、これに対する質問・意見募集では地域住民より合計74通の意見書が提出され、内53通は個別に意見が記入されている。その意見のほとんどは (1)その施設は公民館分館、農協、連絡所、郵便局、診療所機能を併せ持っており、どれ一つとっても地域に必要なため、機能の方向性を検討する中で、建物の維持管理または建て替えについても検討してほしい。 (2)この建物は信里地域で唯一の地域住民が集合し、議論が出来る場所であり、「廃止・解体等」という方向ではなく、継続の方向で是非検討頂きたい。 等の意見である。 今後の進展については、再度、地域住民と十分協議して進められたい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
40	3 公民館・交流センター編	若穂公民館綿内分館を廃止に反対。 綿内分館は、詩吟の会・絵画グループ・演劇の会・合唱団・地区住民の会の練習の場、大会の場として活用されており、待ち合わせの場としても利用される地区住民のコミュニティーの大事な場所。廃止しないでほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
41	3 公民館・交流センター編	<p>市内の分館・分室は、多くの市民に広く活用され地域で活動する諸団体にとっては、利用度が高い施設であり、松代公民館松代分館も同様。</p> <p>住民自治協議会ごとに説明を行ったようだが、利用者、一般市民に説明もなく、合意も得られておらず、わずか1ヵ月のパブリックコメントでは、市民の意見を聞き取れないため、次のとおり提案する。</p> <p>1.分館ごと又は地域ごとに説明会を行う。 2.分館の利用者および利用団体に説明会を行う。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
42	3 公民館・交流センター編	<p>川中島町公民館の川中島・中津・御厨3分館の譲渡・廃止に反対。</p> <p>①2019年度の本館利用者は35,236人、3分館合計利用者は32,053人で、3分館が廃止されれば本館に利用者が殺到して混乱する。また、希望の日時に会合や催しが出来なくなる。</p> <p>②分館はいずれも旧村ごとにあり、駐車場もあり、身近な存在で利用がしやすい。無くなれば身近な会合が出来なくなる。</p> <p>③長野市に合併する際にも存続が約束された施設であり、廃止・譲渡などは合併の約束違反。</p> <p>④篠ノ井、更北などには農協会館があり、規模の大きな会合、集会などができる代替施設があるが、川中島町にはない。</p> <p>⑤各組には集会場(地区公民館)があるが、組を超えた会合・集会などを開催するには駐車場が整備されている分館が利用されている。廃止・譲渡されれば場所がなくなる。</p> <p>⑥市の中心部には文化会館、若里ホールなどがあり、沢山の市税が使われている。中心部との均衡上も廃止・譲渡には反対である。</p> <p>⑦高齢化や災害対策を考えた場合、分散型都市の形成が望まれるが、地域に分散した分館などの廃止・譲渡は時代に逆行する政策である。</p> <p>⑧公共施設の縮小の理由の一つに他の中核都市に比べて公共施設が多すぎることをあげているが、鬼無里、戸隠、中条、小田切、大岡、信里など山間地域を含めた中核都市であることを考えれば、施設が多くて当然である。数を削る理由にはならない。</p> <p>⑨川中島分館はJRの駅にも近く、外部講師などを招いた講座などは開催しやすい。エレベーターなど充実して利用促進を図るべき。</p> <p>⑩3分館の清掃には地域の住民や福祉施設利用者が委託を受けて働いている。雇用が失われる。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>なお、エレベーターの設置については、多額の経費を要するため、困難であることをご理解ください。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
43	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島、中津、御厨の3分館は、利用者が多く、本館では吸収できない。高齢化が進んでおり、近くの分館がなくなれば、行くことができず影響が大きいので、廃止しないでほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
44	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館3分館について 川中島地区では、30～49歳までの世代は転入者が転出者と死亡者の合計よりも多く、その影響で19歳以下も転入が超過している。逆に70歳以上は死亡による減少以上に減少し、川中島地域から転出していると推計される。このため、生産年齢域には家族も含め地域への溶け込み戦略等が必要で、70歳以上の高齢域には地域停留の施策等が必要である。さらに、コロナ禍への対応からも地域活動の多様化と強靱さが求められ、地域力を増強する「場(ハード)」と「政策(ソフト)」の共鳴が重要であるが、その「場」には顔が見える範囲の「分館」が適し、「政策」では居住者の独善に陥ることなく立案・実行すべきである。 公民館、特に「分館」は、長年住民の努力で積上げてきたソフト的な地域資産であり、ソフト面での補強と再構築を行う投資的な価値が十分にあると考える。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
45	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島、中津、御厨3分館の廃止に反対。 30年前より子供と共に種々のイベントで川中島分館を活用し、その時代と共に楽しい思い出である。これだけ町民から支持利用されている施設を一方向的に廃止するのは、「民の為の長野市政」に汚点を残すばかりでなく、地域活動の停滞をまねき、教育県にも影響する。 要・不要を将来の大きな目を持って決断されたい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
46	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 川中島分館は近くにあり、昔から気軽に使えてきた。階段は急なので、改善して頂けば、これからも大いに使用していきたい。中津公民館は、老人、子供にとって無くてはならない場所で、無くなれば活動が停止する。地域の住民サービスの低下は活力を失うことになる。地域の気軽に使える場所は、“生きる”ことに深く結びついており、簡単に廃止と決めないでほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
47	3 公民館・交流センター編	公共施設マネジメントの基本理念の考え方には賛同するが、公民館分館・分館全28施設に対する市の方針は、地域の実情を考慮せず、地域住民、利用者のコンセンサスを得ずに示しており、住民の不安を煽り、行政への不信も招くもので、川中島町住民自治協議会としては、今回の方針に反対。 川中島町公民館の利用者は本館が年間約3万5,000人、3分館を合わせた利用者は約3万2,000人と、多くの住民から利用されており、3分館を廃止すれば、本館で全ての利用者を吸収できないうえ、多くの利用者が活動の場を失う。特に中津分館は利用者も多く、新耐震で目標使用残年数は46年もあることから、長寿命化のための改修工事が実施できる。川中島町は公共施設が他地区よりも少なく、災害時の一時避難場所としても、当地区において重要な施設。 地区への譲渡については、旧耐震の2施設の耐震化やエレベーターの設置など、市が改修工事を実施した場合は、地元として検討は可能。川中島町住自協は公民館本館・3分館の指定管理者として地元に着目した事業を展開し、努力してきており、引き続き「まちづくりの拠点」として利活用できるよう、耐震工事、エレベーターの設置などの実施など強く要望する。今後、3分館の取り扱いについては、住自協をはじめ地元との協議の中で、機能の方向性を決定するよう、願います。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 また、エレベーターの設置については、多額の経費を要するため、困難であることをご理解ください。 なお、川中島町公民館3分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
48	3 公民館・交流センター編	公共施設マネジメントの基本理念については、将来を見据えれば大変良いが、川中島町公民館の3分館の廃止等には反対。3分館では年間約3万2千人の利用があり、それを本館では吸収しきれず、多くの市民が社会教育の場、活動の場を失うとともに、行政不信に陥る。個別施設計画については、廃止等すべきものは廃止し、必要なものは一律廃止ではなく、残すべきものは残すよう強く要望する。 3分館は一律の廃止等ではなく、今後の協議の中で地元の意見を十分くみ取るよう要望する。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
49	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 毎年2月に国政・県政・市政報告会・新春のつどいを開いており、毎回大勢の参加がある。2月以外にも国政・県政・市政で市民に大切な身近な政策などの報告会を行い、大変喜ばれている。中津分館の存続をお願いする。 御厨・川中島分館では区の役員会、消防団、安協、育成会、老人クラブなど利用している。存続をお願いする。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
50	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 公民館分館はもっとも身近な学習の場、集会の場。高齢者が増え、高齢社会のコミュニティーの場として積極的に利用したい。是非なくさないでほしい。もっと活用できるようエレベーターの設置や老朽部分の改築など、施設を充実してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、施設の補修は行いますが、エレベーターの設置については、多額の経費を要するため、困難であることをご理解ください。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
51	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 ・利用者に廃止の方針が周知されておらず問題。 ・地域の活動場所として利用機会も多く、将来的にも地域住民の心身の健康を維持する場所として有益。場所があることで利用のアイデアも生まれる。 ・民間の施設は、各自の負担が大きくなり、利用機会の減少し、地域での交流減少になる。独居老人等の孤立化が一層進む。 ・災害時の避難場所としても大切であり、耐震強化を進めるなどして、いざという時の安全に備えるべき。 ・活動状況、利用率の調査を行い、住民数、年齢構成等を分母に数値化するなども参考に、地域の意見をしっかりと聞くことが必要。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、川中島町公民館3分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
52	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 (1)こんなに利用があるのに廃止などあり得ない。 (2)「個別計画」と銘うちながら、ほとんどの分館を一括りにして廃止とは手抜きである。 (3)川中島の3分館は廃止どころか、エレベーターを付けるなど改修してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、エレベーターの設置については、多額の経費を要するため、困難であることをご理解ください。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
53	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 自分以外に、家族・友人も多く利用している。中津分館は利用者が多く、希望する日が使えないこともある。この館には一定の駐車スペースがあることが利用しやすい大きな理由。中津分館の廃止方針は是非とも取り止めてほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
54	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館3分館は廃止しないでほしい。 1.本館利用者は近年3万5千人余、3分館の利用者も3万人余となっており、3分館の利用者の施設が不足となる。 2.分館は各地域にあり(旧町村に設置)身近で利用しやすい。 3.本館は支所構内にあり、駐車場が少なく、利用しにくい。 4.自然災害(近年温暖化の洪水、地震多発等)時に避難できる建物として活用可能。 以上のとおり必要な建物であり耐震化して存続してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、川中島町公民館3分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
55	3 公民館・交流センター編	<p>川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。</p> <p>①3分館が廃止されれば本館に利用者が殺到し、希望する日時に活動ができなくなる。</p> <p>②分館は身近な存在で利用がしやすく、スペースも広く、使用しやすい。駐車場もあり、安心して行く事ができる。</p> <p>③高齢化や災害対策を考えた時に、絶対に必要。</p> <p>④高齢者の活動の場をなくせば、健康を維持することが難しくなる。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
56	3 公民館・交流センター編	<p>川中島町公民館川中島分館について、本館のみ継続で、3つの分館を廃止するという事は、川中島町の人口=27500人に対して、本館だけで十分だと判断された根拠が説明されておらず、納得できない。住民の数に見合った規模の公民館を用意してほしい。</p> <p>川中島分館は川中島消防団第一分団の詰所にもなっているが、分団詰所は「補修を行いながら使用していく」とあり、川中島分館の「譲渡または廃止」という方針と矛盾している。</p> <p>川中島町の北部は犀川に面しており、市のハザードマップによると大半が50cm～3mの浸水地域であるのに対し、最寄りの避難場所は、川中島小学校、小松原体育館しかなく、近隣に高い建物もなく、避難場所が全く足りない。川中島町公民館川中島分館が廃止されると、当地区には公共施設は何もなくなってしまう、避難場所がない。川中島分館を廃止するのであれば、公民館、自治会の集会場、住民の集いの場、防災の拠点(備蓄)等、多目的に使えて、避難場所にもなるような地区センターを行政と住民で設置することを検討してほしい。</p> <p>川中島分館の廃止については、住民の意見・要望を理解し、行政としてやるべき課題を認識して、将来どうあるべきなのか、住民および地域と十分協議して進めるよう要望する。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>また、建物のうち、川中島消防団第一分団詰所の部分については、建物が存続している限り、機能を維持していきたいと考えています。</p> <p>なお、川中島町公民館3分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。</p> <p>現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
57	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨3分館の廃止は中止してほしい。 ①川中島町には分館に替わる代替施設がない。 ②分館はそれぞれの地域にあり、利用者には身近である。催し物も多いが、廃止になると公民館活動が縮小してしまう。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
58	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 シニア世代が増え運転免許を返納すると、本館までの交通手段が保証されない。歩いて行ける「分館」は地域の文化や「つながり」の育成に大きな役割を果たしてきた。趣味の集まり、学習会、講演会、会食会など、何回となく参加してきた。今後ますます必要となる地域の活動にシニア世代が参加しやすい場所となうよう改修し、未長く大切にしてほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
59	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 川中島の人口は28,000人位で、飯山市に匹敵する。数多くのサークルや団体が、文化・社会活動をおこなっており、町発足以前の旧3村の地域で自然に使用されている。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
60	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館の川中島・中津・御厨分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 分館は、そこに住む住民の集いの場であり、交流の場。分館は趣味を生かした活動、健康のための活動などの場であり、単なる公民館ではなく、地域住民にとって必要。また、自治体や農協、安協などの、会議や打合せ会などを行う場として必要。さらに、災害などの避難所として使用することもできる。 以上の点から、分館は残してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、川中島町公民館3分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
61	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。 閉鎖・譲渡されると毎週活動している場所がなくなり、とても困る。楽器をみんなで練習できる場所は少なく、メンバーの多くが近くに住んでいるので、他の場所を探すのはとても大変。中津分館は心の支え。エレベーターをつければ高齢者の利用も増えると思う。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、エレベーターの設置については、多額の経費を要するため、困難であることをご理解ください。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
62	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館川中島分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 私達は子育ての時、異年齢の子供達がのびのびと遊んだり、劇をしたり、観たりできる場として地域の分館で過ごしてきた。そして自分の学習の場としてのサークルやボランティアの場所として地域のよりどころとして分館を利用してきた。それというのも分館が私達が子連れでも高齢者となった今でも歩いて行ける場所にあったからである。地域の人々とのつながりもでき、この地に住み始めて45年、私達の文化的な暮らしに欠かせない施設であり、行政として責任をもって維持・管理することを望む。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
63	3 公民館・交流センター編	<p>川中島町公民館川中島分館の廃止に反対。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四ツ屋区は本館に遠く、高齢者等は各種行事に参加しにくい。 ・現在の指定避難場所までは遠距離すぎるため、災害時の避難場所として確保してほしい。中島西・中島東・弥生町の各公民館には駐車場がなく、駐車場のある最寄りの場所に避難したい。 ・地区への譲渡の場合は、四ツ屋区、上水鉋区等近隣地区と協議が必要。 ・農協と在り方検討の場合、川中島分館として残してほしい。農協側が高層のビルを建設し、その1部を川中島分館として存続してほしい。 ・川中島駅に近いことを考えて、公民館として有効な利用方法を検討し利用率を上げることを考える。地元ワークショップ等で意見集約する。 	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p> <p>なお、川中島町公民館川中島分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。</p> <p>現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
64	3 公民館・交流センター編	<p>川中島町公民館川中島分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。</p> <p>子育ての時に歩いて行ける距離にあり、普段から身近に感じている分館が、とても役立った。地域公民館は他地域の人が使えないとか、年配の人の目がきびしく使えなかった。8～10家族が集まり、楽しく全員で子育てをした場所。身近な場所にあり、自由に気軽に集まることができ、使えることが、市で行う子育てイベントとは全く違う。子供劇場で地域の子供達が歩いてきて、公演を楽しめ、歩いて帰りながら、話をしながらということは、とても大事だと、10年以上子ども劇場にかかわりながら感じた。本館は個人で使うのは敷居が高すぎる。</p>	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
65	3 公民館・交流センター編	<p>川中島町公民館川中島分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現在利用者がたくさんいる中で、その人達に知らされず、突然利用ができなくなるというのはおかしい。意見を聞いて話し合っしてほしい。 ②年寄りにとっては健康のため、若い子育て世代には文化活動を子供と一緒に、それぞれコミュニケーションをとりながら生きがいとなっており、医療費の削減にもつながる。 ③利用者が本館に行くようになった時は、かなり大変になって利用できない人達が多くできてしまう。 ④去年の様な災害が起きた時、身近な分館があれば本当に助かると思われる。 ⑤川中島分館は特に階段がきついので、違った方法で利用しやすい様に改善されれば、よりコミュニケーションとれる良い場所になる。 ⑥大きな施設の維持費の事を考えると、分館の費用ははずめの涙程で、比較にならない。 	<p>本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。</p> <p>ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。</p>	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
66	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館川中島分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。近いところで気軽に使える施設を残してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
67	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館川中島分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。読書会グループの集まりで利用している。駐車スペースも有り、集まりやすい場所なので、地域の分館としてぜひとも残してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
68	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館川中島分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。近くにあるからこそ利用できるのであって、本館に集約してしまえば、希望通り今まで通りの利用は不可能。30年来の地域の有志が集い、学習、親睦の場が失われてしまうのは非常に残念。効率が悪いなどで、その存在をなくしてしまうということではよいのか。長野市は文化・教育に誇りをもって進んできた歴史があるはず。古いから維持費がかかるので廃止するのではなく、他の方法、他の分野での予算削減など考えてほしい。利用者の意見をもっともっと丁寧に聞き取り、存続の必要性を理解してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
69	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。位置的に行きやすく、時間的に都合が良い等のため、三輪から毎週練習に通っている。他への譲渡や廃止に反対。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
70	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。 毎週公民館をクラブの練習で使用しており、分館の存続に不安を感じている。不定期な日程、あるいは使用料の発生、場所の問題などで、クラブ自体の存続も心配。高齢者が増える中で今のような集まりできなくなる事で、様々な意欲が落ち込む心配もある。今まで通りの存続を強く要望する。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
71	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。 40年以上も音楽サークルで毎週練習し、2年に1度の発表コンサートには400人位の地域住民が聞きに来ている。高齢者の多いサークルで、近くに練習場があるので続けてこられたが、中津分館がなくなれば、活動が成り立たない。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
72	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 子ども劇場の活動で利用している。劇を見ることと同じくらい遊ぶことを大切にしているが、大きな部屋のある会場は少なく、中津分館はみんなで遊ぶにはとても良い場所。親同士、子ども同士交流しながら、一緒に育っていく事を大切にしている私達には集まる場所が必要。コロナの影響もあり、芸術館までは出掛けていけないが、地域にある公民館なら出掛けていける。近くにあるから利用できるのが公民館。防災・避難所としても大切な場所。小さな集まりが持てる場所を残してほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、川中島町公民館中津分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
73	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。 音楽クラブの活動で約20年前から練習をしており、公民館多目的ホールで演奏会も開催し、町内の方々が大勢来場し、楽しみにしてもらっており、地域の音楽活動として貢献している自負もある。閉鎖となると、練習場所がなくなり、困るので、ぜひ存続してほしい。農協に譲渡となると有料となり、会の運営が困難となる。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
74	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。 長年、月4回練習で利用している。もし中津分館がなくなるとサークルは存続できない。駐車場も広く、民家から離れており、窓を開けての練習も心おきなくできる。市は、他に移るとか、多少狭くなるとか説明されたが、ほとんどのメンバーが70才を越えており、今さら他の狭い所では活動ができない。活動は私たちの生きがい。どうかこのまま中津分館を公民館として存続できるよう、市の役職のある職員 の努力を願う。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
75	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の「補修を行いながら、地区への譲渡または、廃止を進める」計画案に北原区として反対。 中津分館は北原区内にあり、年間利用者が約15,000人と多く地域に根付いている。また、区関連行事や構成自治体組織である組が、会議や行事で使用しており、北原区にとって大事な施設。 中でも福祉事業である、お茶のみサロンは高齢者の参加が多く、距離のある地域公民館・北原公民館では参加できないとの意見が寄せられている。出前講座の説明では、代替施設を考えるとの事ですが、遠くなったり、有償になる事もあるとの話であり、参加者が減ると思われる。区行事以外の利用者も多く、廃止されると地域の活力が失われる。さらに、地域の高齢者からは、2階であり参加できないと諦めている。エレベーターがあればとの要望が寄せられる。お茶のみサロンを運営する福祉推進員からも、エレベーターがあれば声を掛けやすくなるとの感想もある。今後のフレイル予防のためにも、廃止ではなくエレベーターを設置する等、市民・高齢者の利便性を高める事が効果的と考える。施設利用者への更なる周知も要望する。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、高齢者の社会参加による介護予防を推進するため、より身近な場所にお茶のみサロンなどの「高齢者の集いの場・通いの場」が多くあることが望ましいと考えています。 地域で高齢者を支えていく観点からも、地元地区への譲渡・管理について、地域の皆様と検討していきたいと考えています。 分館へのエレベーターの設置については、多額の経費を要するため、困難であることをご理解ください。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
76	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止に反対。 長い事利用し、大変助かっており、地域の皆様も2年に1回のコンサートを楽しみに待ってもらっていた。譲渡にしても、今までのように使用出来るよう補助をお願いしたい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
77	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の廃止・譲渡・民間委託等に反対。 長野市南部で子育てや文化活動を支援している団体で、中津分館では子育てサークルを開催している。南部地域全体から親子が集って来るが、15年程活動している中で、集まりやすい場所である。地区の公民館は他地区の人は使えないなどあり、市の公共施設として大切な場所。子育てサークルは保育園に入っていない子が親子で参加する。保育園に入っている子は市の園舎を使い、保育士等へのお金も使われている。家にいる子はそういうお金を使わず、家庭で子育てをしているのだから、公民館をこのまま使わせてほしい。災害時にも避難場所として大切であり、本館だけになったら、どうやって避難するのか。入りきれない。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。 なお、川中島町公民館中津分館は、指定緊急避難場所、指定避難所の指定はしておらず、今後も指定の予定はありません。 現在、本市では、地区で一時避難場所又は自主避難所の検討をする際に、検討過程での助言や参考となる協定書の提示、要請に基づく協定締結式への立会いなどの支援を行っています。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
78	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館中津分館の譲渡・廃止・民間委託等に反対。 ヨガサークルを18年程続け、50～80代の会員が週一回、家にひきこもる高齢者も誘い合いながら心通わせ合いながら楽しく、ヨガにより身体の運動、健康になる為の心の持ち方、食事の大切さを学習している。中津分館は、立地的にも通い易く、駐車場も広く、大変助かっている。 廃止は、とても悲しい。分館が廃止となると、川中島本館での朝早くからの希望日時の申し込み予約が悩みが大きく、憂鬱になる。会場が予約の取り合い殺到で、ケンカ騒ぎも起こる。 中津分館をこれからも長く利用できること願う。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
79	3 公民館・交流センター編	川中島町公民館御厨分館の譲渡・廃止に反対。分館が廃止になると、今まで通りの会議を開く場所がなくなってしまう。会議人数50名位のスペースがほしい。また、資料等の保管場所もある程度ほしい。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
80	3 公民館・交流センター編	個別施設計画(素案)時に対し、意見を提出したが、(案)には意見が反映されていない。(素案)から(案)までの間の市民に対する市の態度は納得できない。長野市全域の公民館活動は各地区の小さな分館により、集まり成り立って来たと思っている。「公民館分館の機能の廃止」は考えられない。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
81	3 公民館・交流センター編	地域の交流の機会や会議の場所として、各地域分館はこれからも必要な施設である。稼働率が少ないというだけで簡単になくしてしまうのは、良くない。	本市は人口等が類似する都市と比較して集会施設が多く、将来にわたり全ての集会施設を維持していくことは困難なことから、本館については維持し、分館の機能については廃止、建物については解体、譲渡又は貸付を行う方針です。 ただし、ご意見にもあるとおり、分館ごとに施設の老朽度や使われ方、利用率、所在する地区の人口など置かれた状況が異なるため、計画の推進にあたっては、地域の社会教育が衰退することのないよう、地区や利用者の皆様、関係機関等と十分に協議を重ねていきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする
82	6 図書館編	4年も前から南部図書館の篠ノ井駅西口への子供広場との複合化を要望している。建物も老朽化、耐震調査未実施、災害はいつ起きるかわからない。早期実現を望む。建設場所について、現地建替えはデメリット部分が多く、駅周辺のまちづくりのためにも、地元が要望している篠ノ井駅西口への複合化施設が適切だと思う。建物は、計画から完成まで4～5年かかるので、早急にスピード感を持って検討を進め、検討の素案の段階で地元との協議の場を設けてほしい。	まずは現施設の安全性を確認するため耐震診断を実施しています。施設整備については、耐震診断の結果を踏まえ、引き続き地元の皆様と協議・検討していきます。	案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
83	6 図書館編	<p>南部図書館は、長野市立図書館基本計画の案で「篠ノ井駅周辺のまちづくりを視野に入れ改築計画を検討する」とあり、それらを踏まえ篠ノ井地区住民自治協議会、長野商工会議所、篠ノ井区長会で平成28年2月26日に篠ノ井駅東西通路に接続した長野市立南部図書館の改築・整備要望書を市長へ提出した。市側から隣接するJR用地の活用も含め大至急検討に着手すると返答があったが、JRとの交渉は進展の見通しが立たず現在に至っている。地域からの要望はJR用地の活用までは前提条件ではなかったため、JRの都合に計画が委ねられることは本末転倒であり、交渉は一区切りをつける時期と思われる。また、平成29年には「篠ノ井地区公共施設市民ワークショップ」が4回にわたって開催され、新たな図書館のイメージ等専門家のアドバイスも受けながら一定の整理がなされた。さらに平成30年には篠ノ井駅西口サウンディング型市場調査も実施され、駅西口の低未利用地の活用に民間業者からも幅広い意見提言を受けているが成果物は示されていない。</p> <p>この様に事業は進んでいるようで進んでいないような状況であり、建物の更新時期も迫ってくる中、今までの検討を無にすることなく、所管部署で具体案を作成し地元へ示してほしい。なお、現在行われている現南部図書館の耐震診断については、多くの利用者の安心安全のため当面必要な措置と考える。</p>	<p>まずは現施設の安全性を確認するため耐震診断を実施しています。施設整備については、耐震診断の結果を踏まえ、引き続き地元の皆様と協議・検討していきます。</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする</p>
84	6 図書館編	<p>■【ランドデザイン作成】 南部図書館の改装計画は、篠ノ井総合市民センターも含めた篠ノ井のまちづくりの全体像を十分考慮した、戦略的な計画とされたい。</p> <p>■【まちづくり】 長期視点に立った戦略的な町づくりの観点から、市民センターや図書館などの公共施設を篠ノ井駅東口側に集中させ、篠ノ井は「医療・福祉・文化教育の町」として、これから未来の100年が「健やかに、文化的に暮らせる町」としてインフラ整備されたい。</p> <p>■【専門家との協力】 「コンセプト」「目的」をはっきりした施設にするため、地域課題を解決し、かつ、地域の声を集約し、コンペやプロポーザル方式を採用して専門家(大学の研究室やまちづくりコーディネーター等)・建築家などとも協力して建設されたい。</p> <p>■【交流の場】 図書機能だけではなく、他の機関なども入居し、「ヒト・モノ・情報の交流・起点」としての、まちのシンボリック複合施設として建設されたい。</p> <p>■【市民参加の図書館づくり】 計画の段階から住民が参加し、広く意見を述べる機会を保障し、その意見が反映された図書館づくりをされたい。</p> <p>■【南部図書館のある暮らし】 通明図書館開館の明治4年から108年もの間、図書館と共にある住環境を守り続けた市民の気持ちを十分にくみ取ってほしい。</p>	<p>まずは現施設の安全性を確認するため耐震診断を実施しています。施設整備については、耐震診断の結果を踏まえ、引き続き地元の皆様と協議・検討していきます。</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする</p>

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
85	6 図書館編	<p>南部図書館については、篠ノ井駅西口への移転改築の期待が非常に高く、市の財政が厳しいことは理解するが、利用者(年間9万人)も多く、公共施設マネジメントの取組においても必要性、優先度は高い。</p> <p>今後の対策の検討は、これまでの市の取組方針や地元の取組対応等を踏まえ、地元が納得できるあり方の検討を切望する。</p>	<p>まずは現施設の安全性を確認するため耐震診断を実施しています。施設整備については、耐震診断の結果を踏まえ、引き続き地元の皆様と協議・検討していきます。</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
86	6 図書館編	<p>南部図書館は年間利用者が約9万人と多く、周辺市町の利用者も多数となっている。建築から43年が経過しており、ようやく耐震強度の調査が計画されたが、旧来の耐震設計ということで、地震災害時の強度が心配。また、篠ノ井交流センターが、駐車場整備を残してほぼ完成し、交流の拠点としての役割を果たしているが、駐車台数が限られ、連日駐車渋滞が発生しており、図書館利用者にも不評であり、改善してほしい。</p> <p>交流センターと図書館のサービスを向上させるには、図書館の篠ノ井駅西口への移転改築が最善の方策と考える。また、21世紀型図書館への脱皮を進めれば、県都長野市の評価が高まり、手狭になっている子ども広場との複合施設として、早期に決断してほしい。</p>	<p>まずは現施設の安全性を確認するため耐震診断を実施しています。施設整備については、耐震診断の結果を踏まえ、引き続き地元の皆様と協議・検討していきます。</p> <p>なお、現在、総合市民センターの駐車場工事のため、総合市民センターの駐車場が一時的に狭くなっています。</p> <p>令和3年3月末に完成予定ですので、ご不便をおかけしますが、ご理解ください。</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
87	9 その他施設(生涯学習・文化)編 / 36 その他施設(その他)編	<p>旧御山里小学校・旧更府小学校吉原分校・中条音楽堂について、解体せず、木造建築技術・文化的価値の視点からも残すべき。御山里小学校は、都会の子供たちが夏に体験教室に訪れたり、某大学も教材に使っている。将来的に人々を癒す観光資源としての可能性を持っていると考えている。“懐かしい未来”の景観を造っていくために、3棟を壊さないでほしい。</p>	<p>3施設とも未調査のため、文化的価値付けができない状況ですが、旧更府小学校吉原分校は、集会所として地元区へ貸付を行っています。建築から50年以上経過し老朽化が進んでいるため廃止の方針とし、今後は、解体又は地元へ譲渡する方向で調整を図りたいと考えています。</p> <p>旧御山里小学校は、閉校以来常習的に使用されておらず、管理を地元交友会組織で不定期に行っています。そのため、天井や床の一部に損傷が見られるようになり、利用者に注意を促すようになってきています。ご指摘のとおり築後100年を超える施設は珍しいものの、今後の維持管理を考えると、解体の方向としますが、交友会としっかりと協議・検討をする中で結論を出したいと考えています。</p> <p>音楽堂は、現在地元へ貸付をして利活用しているため、その利用終</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
88	10 温泉保養・宿泊施設編	<p>(1)民間企業に譲渡した場合、利用料金が高騰し、旧価格を知る市民は利用しづらくなるのではないかと懸念されている。</p> <p>(2)さざり荘では地元のサフォークを商品化しているが、生産者も生産頭数も少なく、品切れの日もある。サフォークを長野市の名物品種にして、もっと生産に力を入れてはどうか。民間譲渡ではなく市の予算を入れて、サフォークを長野市の名物扱いとしながら、現状の指定管理制度が良い。</p> <p>(3)民間譲渡としているが老朽化した施設は修繕、改築に費用が掛かり、市が譲渡前に施設を改修するのではなければ、引き受ける企業はないと思われる。</p> <p>(4)山間部にある施設は、人口減少の中、市としてはお荷物的な存在かも知れないが、その住民にはその施設が拠り所であったりコミュニケーションの場になっている。(さざり荘の休憩室を見ると思う)譲渡を計画して引受企業が無かった場合、その施設はどうなるのか。市外地に住む私にとっても、郊外に出掛ける楽しみがなくなってしまう。</p>	<p>(1)民間譲渡後の利用料金については、一概に判断できませんが、より良いサービスを提供するために、事業者が経営戦略の中で設定するものと考えています。</p> <p>(2)信州新町地区はジンギスカン料理を特産としており、特に地元で飼育している「サフォーク種の羊肉」は飼育頭数が限られ、貴重で人気があることから「不動温泉保養センターさざり荘」を中心に料理等で提供しています。貴重な品種が故に供給が間に合わないこともありますが、今後も商品PRに努めるなど、引き続き消費拡大に取り組むことが、生産振興にも繋がると考えています。</p> <p>なお、本市は民間の活力によるサービスの向上と経費削減等を図るため、指定管理者制度を導入し、さざり荘においても、現在指定管理者による管理運営を行っていますが、民間主体で提供可能なサービスについては、継続的かつ安定的に運営を行う上で、民間譲渡等も視野に、検討を進める必要があります。</p> <p>(3)施設の老朽化に伴う修繕等については、運営に支障がないよう必要に応じて行っているところですが、施設の譲渡等に当たっては、不具合の是正など、譲渡先等と十分協議していきたいと考えています。</p> <p>(4)中山間地域の施設は、地形的要因などから、稼働率が低いことも事実ではありますが、それぞれの施設が豊かな自然環境の中で、個性ある魅力的な施設として、皆様に利用されています。</p> <p>施設の収支改善に取り組む中で、民間譲渡や普通財産化による貸付等も視野に、柔軟な運営等による地域振興施設としての活用も含め慎重に検討を進めています。</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする</p>
89	28 支所編	<p>朝陽支所は、地域の活動及び防災の拠点として重要であり、なくてはならない存在。支所の一部は朝陽公民館の分室であり、かつ住自協事務局もその一部を利用しており、狭隘かつ老朽化が進んでいるため、計画(案)のとおり朝陽公民館との複合化を図り総合市民センターとして、計画期間前期で整備されたい。</p> <p>なお、市公共施設白書によると、朝陽地区内の施設面積は一人当たり0.6平方メートルと極端に低い状況であり、支所建設時に比べ人口も増加しているため、総量縮減は理解できるが、朝陽地区の実情を考慮されたい。</p>	<p>朝陽支所については、朝陽公民館本館及び分室との複合化を図り、総合市民センターとしての整備を進めていきます。</p> <p>地域の実情や財政状況を踏まえながら、計画期間内の整備を検討していきます。</p>	<p>案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする</p>

No.	施設編名	意見の概要	考え方	対応方針
90	10 温泉保養・宿泊施設編	ワークショップ・地元意見等に追加 さざり荘の現指定管理者は、サフォーク料理を焼肉に限らず新メニューの開発をしたり、ネット販売や外部販売にも注力している。また、ろうかく湖をサップ(SUP:スタンドアップパドルボード)の拠点にして集客を計画しているとのこと。さざり荘は信州新町地区の憩いの中心であり、長野市としても市の観光拠点になる。	P16、「(3)2次検討の結果 エ ワorkshop・地元意見等」については、各地区で開催されたワークショップや懇談会等の際に出された意見を記載しているため、今回追加修正は行いません。	検討の結果、案に反映しない
91	5 市民文化・コンベンション施設編	市民農園サラダパーク蚊里田廃止の新聞記事を見て思いついた。蚊里田八幡宮の若槻大通りからの参道の幅を広げ両側に木を植え神社を盛り立て、さらに周りに駐車場・駐輪場にするなど、善光寺の北東にあり鬼門除けとして役割を担っている蚊里田八幡宮を市北部の神社として整備してはどうか。	神社である蚊里田八幡宮を市が整備することはありません。また、現時点において周辺道路の拡幅や駐車場整備の予定はありません。	その他(質問への回答、状況説明)
92	6 図書館編	南部図書館については、4年間の間、協議・検討を行ってきたのに、未だにはっきりした方針がなく、協議・検討したいとは、市の行政に不信感を持つ。	まずは現施設の安全性を確認するため耐震診断を実施しています。施設整備については、耐震診断の結果を踏まえ、引き続き地元の皆様と協議・検討していきます。	その他(質問への回答、状況説明)
93	共通事項	将来のために公共施設の削減は早く進めるべき。	今ある公共施設全てを維持していくことは困難であることから、長野市公共施設等総合管理計画では、施設総量の縮減と適正配置の実現を基本方針の一つとしており、公共施設総量(延床面積)を20年間で20%縮減することを目標としています。	その他(質問への回答、状況説明)
94	共通事項	長野市の公共施設は、中心市街地とそれ以外では大きな格差があると感じる。市民会館建替えに際しても、中心市街地以外は建設候補地から除外されていた。全国を見ると郊外地区に公共施設をつくる傾向が増えているのではないか。	公共施設整備の立地を決める際には、施設の目的や想定する利用者、施設の規模、必要な用地といった施設の特性や立地適正化計画など各種計画との整合性を総合的に判断して決定しています。	その他(質問への回答、状況説明)